

## 農業 IoT 運営事業者育成業務委託 仕様書

### 1. 本仕様書の位置づけ

本書は、IoT導入による農業生産性の向上、省力化、新規就農者の増加、ビジネスモデルの構築を目指し、IoT農業の担い手となる事業者を育成する業務について、公募型プロポーザル方式によって受託者を選定するために策定した業務想定仕様である。受託業務の効果的な遂行に資すると受託者が考えるものについては、想定仕様に追加して提案することを妨げない。

業務の正式な仕様は、契約締結前に調整する場合があるので、その点を踏まえて提案すること。

### 2. 委託業務名

令和2年度仙北市農業 IoT 運営事業者育成業務

### 3. 目的

IoT 導入による農業生産性の向上、省力化、新規就農者の増加、ビジネスモデルの構築を目指し、IoT 農業の担い手となる事業者の育成及び市内外の事業者とのマッチングを目的とする。

### 4. 業務期間

契約締結日から令和3年1月29日（金）まで

### 5. 業務内容

#### (1) 営農者の高齢化、農業の担い手不足を解決するソリューションの提案

仙北市内の農業経営体（以下「経営体」という。）における高齢化及び人材不足を解決する効果的なソリューション（IoT導入を含め、3件以上）を提案すること。複合経営農家や個人農家への導入も視野に入れ、システムの構築、運用にかかる費用を抑えたソリューション（複合的な活用を含む）を提案すること。

#### (2) 研修会/マッチングの実施

仙北市内の経営体や将来IoTの活用を見込んでいる個人や事業者等を対象とし、上記目的の達成に資する研修会（ワークショップ等）を実施すること。

(ア)研修会は市内で2回以上実施し、1回の参加者数は15名以上、参加費は無料とする。

(イ)研修会の開催に関するチラシ等を作成し、効果的に周知する方法を提案すること。

- (ウ)研修会の申込受付および参加者名簿（住所・氏名・電話番号必須）を作成すること。なお、申込書の原本は実績報告書と共に市へ提出すること。
- (エ)市内外問わずIoTを活用している農業者及びIoT提供事業者とのマッチング方法を提案すること。
- (オ)農業IoTの導入経験をもつ経営体の講話あるいはIoT提供事業者と参加者との意見交換の場を設け、意見を集約し、研修会の効果を分析すること。
- (カ)参加者を一施設に参集させる場合は、新型コロナウイルス感染症対策を講じること。

### (3) 実証事業報告書等の提出

事業の成果物として、業務期間終了までに次のものを提出すること。

- (ア) (1)～(2)の内容をまとめた研修事業報告書3部。A4サイズ、両面印刷（簡易製本）。
- (イ)事業に関するデータ一式2部。CD-RまたはDVD-Rに格納。
- (ウ)研修会申込書原本

## 6. 業務の進め方

適宜電話・電子メール等で業務の進め方の協議や資料等の確認を行いながら、定期的に担当者と打合せを実施すること（月2回以上）。

## 7. 留意事項

- (1) 本業務委託で作成された成果物に関する全ての所有権は市に帰属すること。
- (2) この業務を遂行するにあたり受託者が第三者に損害を与えた場合、全て受託者の責任において解決すること。
- (3) 受託者は、業務上知り得た秘密を漏らしてはならない。委託期間終了後も同様とする。
- (4) 本業務は、地方創生推進交付金を受けて実施するものであることから、受託者となった場合は、関係する書類等を、業務が終了した年度の翌年度から起算して5年間は事務所に保管しておくこと。

## 8. 重要行政成果指標（KPI）

次のKPIに配慮し、企画及び運営すること。

- ・農業分野でのIoT技術の導入件数 5件
- ・IoT農業を実践する農家または農業法人への新規就農者数 5人
- ・生産性向上に資する農業IoT営農面積 7.0ヘクタール

#### 9. その他

- (1) 委託料の支払いは、業務完了後の実績報告等に基づき行う。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は、協議の上、決定する。

以上